

## (1) 岡山大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	第1学期	2023年4月10日	～	2023年6月8日
	第2学期	2023年6月9日	～	2023年8月10日
	第3学期	2023年10月1日	～	2023年12月1日
	第4学期	2023年12月2日	～	2024年2月14日
試験期間	第1学期	2023年6月上旬		
	第2学期	2023年8月上旬		
	第3学期	2023年11月下旬		
	第4学期	2024年2月上旬		
授業時間	場所	津島キャンパス	鹿田キャンパス	
	1限	8:40～9:30	8:40～9:40	
	2限	9:40～10:30	9:50～10:50	
	3限	10:45～11:35	11:00～12:00	
	4限	11:45～12:35	12:50～13:50	
	5限	13:25～14:15	14:00～15:00	
	6限	14:25～15:15	15:10～16:10	
	7限	15:30～16:20	16:20～17:20	
	8限	16:30～17:20	17:30～18:30	
	9限	17:30～18:20		
	10限	18:30～19:20		

※津島キャンパスにおいて行われる授業は、50分授業。

鹿田キャンパスにおいて医学部・歯学部・薬学部(うち鹿田地区で行われる授業に限る)は、60分授業。

※夜間主コースの授業については、第1, 第2学期を前期授業期間とし、第3, 第4学期を後期授業期間とする。

※補講については、土曜日又は授業担当教員が指定した日に行う。

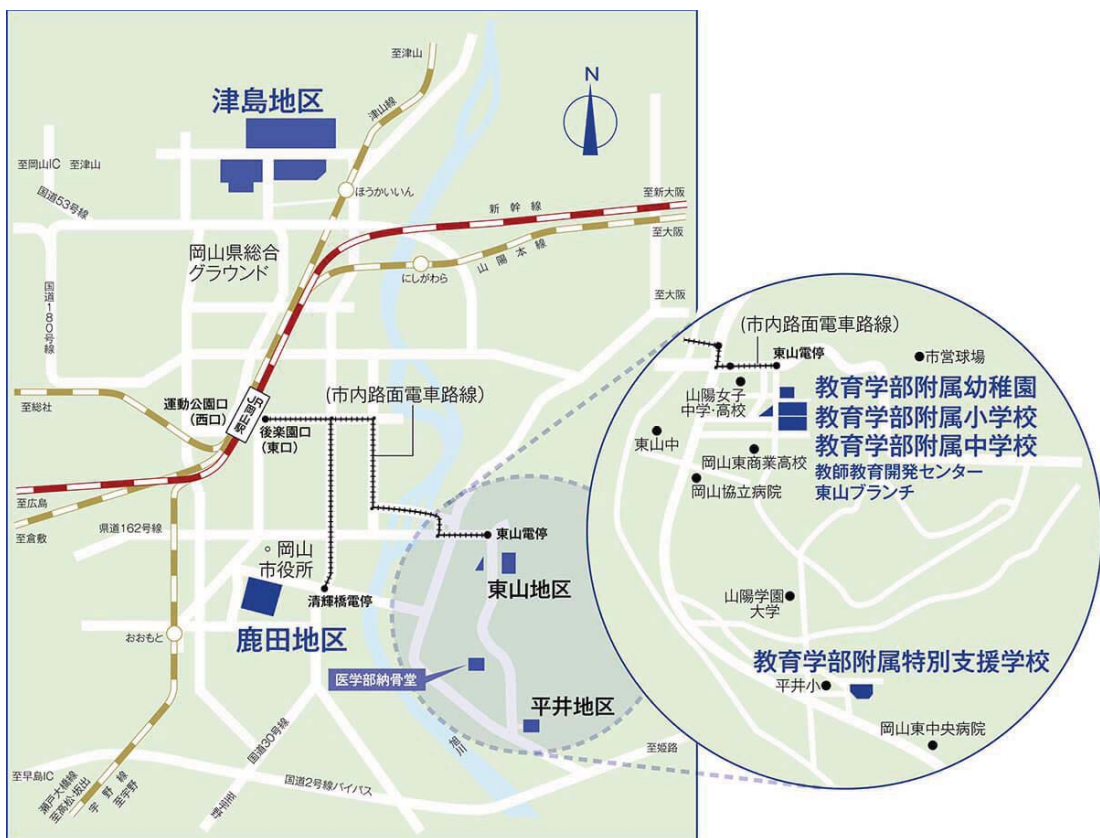
### ② アクセス(案内図)

#### 津島キャンパスへ

- JR岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から約7分
- JR津山線「法界院」駅下車, 徒歩約10分
- JR岡山駅→岡電バス
  - ① 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車。「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車。(所要時間約7～10分)  
※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。  
なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
  - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車。乗車。「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車。(所要時間約30分)
  - ③ 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き,【36】系統「辛香口」行き,【86】系統「運転免許センター」行きに乗車。「岡山大学筋」で下車。大学まで徒歩。  
(所要時間 バス約10分,徒歩約7分)

## 鹿田キャンパスへ

- JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約7分
- JR岡山駅→岡電バス
  - ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル4番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車。「大学病院」(構内バス停)で下車。又は【12】系統「岡南営業所」行きに乗車、「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
  - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル3番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き、【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き、【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行きに乗車。「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
- 路面電車  
岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車。終点「清輝橋」下車。大学まで徒歩。  
(所要時間 電車約10分,徒歩約8分)



岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」

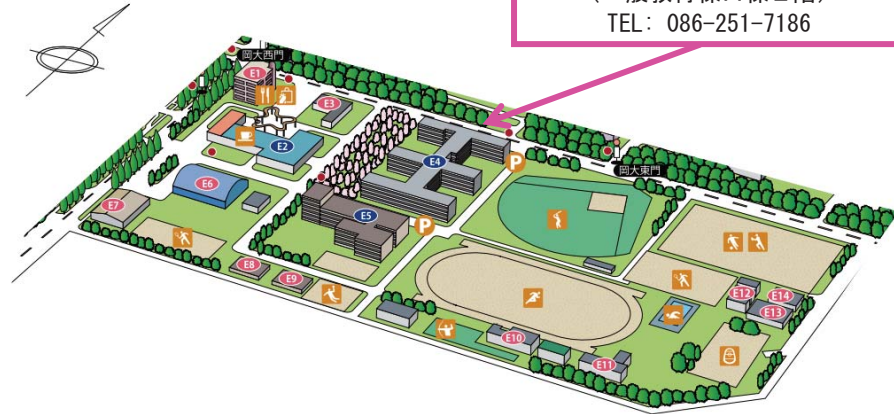
(<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地: 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階

学務部学務企画課  
 総務・企画グループ  
 企画担当⑨番窓口  
 (一般教育棟A棟2階)  
 TEL: 086-251-7186



津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設 (ピーチユニオン) 大学会館	E4	学務部 国際部 グローバル人材育成院 L-café	E6	清水記念体育館
E2	教育推進機構 入試・高大接続部門 学生支援部門 キャリア・学生支援室	E5	一般教育棟D・E棟 教育推進機構 学生支援部門 障がい学生支援室 スポーツ支援室 グローバル・ディスカバリー・プログラム	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟A～C棟 教学企画室 教育推進機構			E8	第一武道館
E4	共通教育部門 外国語教育部門 学生支援部門 学生相談室 留学生相談室 学習・教授支援 (CTE) 部門			E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	合宿所

電話: 086-251-7186(直通)

#### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

##### ・ 履修申込期限

**第1・2学期:4月3日(月)15時まで 第3・4学期:9月20日(水)15時まで**

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。  
(申込期限は延長しません。)

##### ・ 履修手続

###### **対面授業科目を履修する方**

※所属大学の単位互換担当者を通じて以下資料を配布する可能性があります。

1. 第1・2学期:4月10日頃, 第3・4学期:10月2日頃に, 以下の印刷物を配付します。  
対面授業科目の履修者は, 必ず受け取りに来てください。また, その際, 講義室の場所をお知らせしますので, 初回授業までに時間の余裕を持って来てください。
  - ①キャンパスマップ
  - ②学生証(単位互換履修生証)
  - ③自動車通学許可申請書類(希望者のみ)
  - ④岡大ID・パスワード通知(必要な場合のみ)
  - ⑤その他 講義関係書類
2. 自動車通学を希望する場合は, 許可が必要です。(駐車料金 有料)

###### **遠隔授業科目を履修する方**

申込手続完了後に, 岡山大学から履修生所属大学の単位互換担当者を通じて, 上記「①～⑤」の書類を, 配布します。

##### ・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。  
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は, 図書館カウンターで, 単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

##### ・ 岡山大学 学習支援システムmoodleについて

本学の多くの授業は, moodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有や, レポート提出等で利用いたします。担当教員がmoodleを使用すると判断した場合, 本学単位互換担当者が手続を進め, その後「(ログインに必要な)岡大IDやパスワード」, 「moodleの手引き」を単位互換生へお渡ししますので, 必ず一読し, 初回授業までにログイン等の手続を終えておいてください。

(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

##### ・ 感染症による実施要項の変更について

本学内外の新型コロナウイルス感染拡大状況により, 一部実施要項の内容が変更となる可能性がございますこと, ご理解いただいたうえで, お申込みください。変更が生じた場合, 申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

#### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus\\_link.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html)  
(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

→遠隔授業科目 ※対面授業に変更

遠隔授業(医学部)				01101	
授業科目名:保健科学入門			担当教員氏名:齋藤 信也		
Introduction of Health Sciences			60分×2(火曜1・2限)		
履修年次 1	1単位	第1学期	2コマ	定員 若干名	
<p><b>【授業の目的】</b>  健康と病気の考え方, 健康管理, 疾病予防, 保健活動などについて, 社会情勢やトピックスを交えて学ぶ。  授業をとおして学生自身が, より健康な日常生活の実践を意識することにより, 保健医療従事者としての自覚と責任感を養う。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達する自己</li> <li>・大学生活とメンタルヘルス</li> <li>・人間関係形成技術の基本</li> <li>・動脈硬化</li> <li>・医療放射線被曝</li> <li>・臓器移植</li> <li>・白血病と骨髄移植</li> <li>・院内感染</li> <li>・期末試験</li> </ul>					
<p><b>【テキスト】</b>  特に指定しない。  必要があれば授業の中で資料を配布する。</p>					
<p><b>【参考図書】</b></p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  評価方法は期末試験による。</p>					

・対面授業科目

対面授業(文学部)				01001
授業科目名: フランス語コミュニケーション1			担当教員氏名: 延味 能都	
Communication in French 1				
履修年次 1~4	2 単位	第 1・2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 1・2 限)
<p><b>【授業の目的】</b>            フランス語の基本的な運用能力を身につける            * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>            第1週: 動詞 être / 職業・身分を言う            第2週: 形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う            第3週: 第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う            第4週: 疑問文の作りかた / 話せる言語を言う            第5週: 動詞 avoir / 家族について話す            第6週: 不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞 / 年齢を尋ねる, 言う            第7週: 動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う            第8週: 定冠詞, 形容詞の用法 / 理由をたずねる, 言う            第9週: 指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する            第10週: Il y a の構文 / 位置や場所を尋ねる・言う            第11週: 関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する            第12週: 指示形容詞 / 持ち主を言う、不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する            第13週: 縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う、天候の表現 / 天候について話す            第14週: 時刻の表現 / 時刻を尋ねる, 言う            第15週: 試験(オーラル)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            教科書: FLASH! Methode de francais 三訂版、駿河台出版社 価格 2,400 円+税(音声ファイルは出版社サイトからダウンロードできます)            販売店: 生協</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            教室にて適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            授業への取り組み 30%            (会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる)            宿題 30%            学期末試験 40%</p>				

対面授業(文学部)				01002
授業科目名:フランス語コミュニケーション2			担当教員氏名:萩原 直幸	
Communication in French 2				
履修年次 1~4	2 単位	第 3・4 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 1・2 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  フランス語の基本的な運用能力を身につける  * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第 1 週:部分冠詞 / 食習慣について話す  第 2 週:中性代名詞 / 値段を尋ねる・言う  第 3 週:代名動詞 / 習慣について話す  第 4 週:不規則動詞 / 日常の生活について話す  第 5 週:直説法複合過去(1) / 過去のことを話す  第 6 週:直説法複合過去(2) / 期間を言う  第 7 週:直説法半過去 / 過去の習慣について話す  第 8 週:人称代名詞(直接・間接目的語) / 変化を表す  第 9 週:不規則動詞 pouvoir, devoir / できること・しなければならないことを言う  第10週:不規則動詞 vouloir / 目的を言う, 許可を求める。命令法 / 人を誘う・禁止する  第11週:近接未来 aller + 不定詞 / 近い未来の出来事について話す  第12週:直説法単純未来 / 未来の出来事について話す。条件法現在(1) / 条件・仮定を述べる  第13週:条件法現在(2) / 願望を述べる  第14週:比較級 / 比較する  第15週:試験(オーラル)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  教科書:FLASH! Methode de francais 三訂版、駿河台出版社 価格 2,400 円+税(音声ファイルは出版社サイトからダウンロードできます)  販売店:生協</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  教室にて適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み 30%  (会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる)  宿題 30%  学期末試験 40%</p>				

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01003
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(基礎)			担当教員氏名:桑原 敏典	
Secondary Social Studies Civil Studies Development(basic)			Toshinori Kuwabara	
履修年次 2~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 1・2 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  次の 3 点を講義の目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般的な中学校社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。</li> <li>2. 中学校社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。</li> <li>3. 様々な中学校社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回:公民科教育の歴史的変遷と現状  第2回:公民科教育の課題  第3回:学習指導要領中学校社会科・公民科の目標  第4回:学習指導要領中学校社会科各分野・公民科各科目の目標  第5回:学習指導要領中学校社会科・公民科の全体構造  第6回:学習指導要領中学校社会科・公民科の内容  第7回:学習指導要領公民科各科目の内容  第8回:学習指導要領中学校社会科・公民科(公共)の指導上の留意点  第9回:学習指導要領公民科(倫理)(政治・経済)の指導上の留意点  第10回:中学校社会科の授業構成原理  第11回:公民科の授業構成原理  第12回:中学校社会科の授業分析  第13回:公民科(公共)の授業分析  第14回:公民科(倫理・政治経済)の授業分析  試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・『中学校学習指導要領解説 社会編』  ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版, 2020 年.  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書, 1978 年.  ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書, 2020 年.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出(50 点)と試験(50 点)により総合的に評価する。</p>				



遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01004
授業科目名: 中等社会科・公民科授業開発(応用)			担当教員氏名: 桑原 敏典	
Secondary Social Studies Civil Studies Development(advance)			Toshinori Kuwabara	
履修年次 2~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 1・2 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  次の 3 点を講義の目標とする。  1. 中学校社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し, 教材研究に活用できるようになる。  2. 中学校社会科・公民科の学習評価の考え方を理解している。  3. 中学校社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し, 学習指導への位置づけを考察することができる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回: 社会科学とは何か  第2回: 中学校社会科・公民科と社会科学の関係  第3回: 中学校社会科・公民科(公共)と社会科学の関係と教材研究  第4回: 中学校社会科・公民科(倫理)と哲学・倫理学の関係と教材研究  第5回: 中学校社会科・公民科(政治・経済)と社会科学の関係と教材研究  第6回: 中学校社会科・公民科と他教科の学問領域との関係と教材研究  第7回: 中学校社会科・公民科の評価の理論と方法  第8回: 中学校社会科・公民科の評価問題  第9回: 中学校社会科・公民科の発展的な学習内容  第10回: 中学校社会科・公民科の発展的な学習内容の学習指導  第11回: 中学校社会科・公民科の授業づくりの方法  第12回: 中学校社会科・公民科の授業づくりの課題  第13回: 中学校社会科・公民科(公共)の授業計画作成と考察  第14回: 中学校社会科・公民科(倫理・政治経済)の授業計画作成と考察  最終課題</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・『中学校学習指導要領解説 社会編』  ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020 年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978 年。  ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020 年。  ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017 年。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出(50 点)と試験(50 点)により総合的に評価する。</p>				

対面授業(法学部)				01005
授業科目名:法哲学			担当教員氏名:大森 秀臣	
Philosophy of Law			90分(水曜9限)18:00~19:30	
履修年次 3・4	2単位	後期	1コマ	定員 特になし
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義は、法に関する原理的・根本的な問題を検討することを通して、法への根源的な問いを考える能力や、法への多角的な視点を養うことを目的とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  01 ガイダンス+法哲学とは何か  02 法とは何か  03 法規範  04 法の妥当性  05 法と道德  06 悪法問題  07 法による道德の強制  08 中間試験・レポート  09 パターナリズム  10 権利と人権  11 法的思考論の歴史  12 法的思考の特質  13 裁判の特質と機能  14 日本の法解釈論争  15 レトリック法理論  16 期末試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  とくに指定はしないが、以下の参考書を入手する方が望ましい。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年)  平野仁彦・亀本洋・服部高宏『法哲学』(有斐閣、二〇〇二年)  酒匂一郎『法哲学講義』(成文堂、二〇一九年)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  普段の取り組みを評価するために中間テストを実施し、期末試験と合わせて総合的に成績評価する。</p>				

対面授業(理学部)				01006
授業科目名:幾何学 Ia			担当教員氏名: 近藤 慶	
Geometry Ia				
履修年次 3~4	1 単位	第 3 学期	1 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)
<b>【授業の目的】</b> 多様体は現代数学の土台となる「入れ物」であるため、講義を通して効率よく多様体論を学ぶことにより現代数学への入り口に一步でも二歩でも近づくことが学習の目的である。				
<b>【授業内容】</b> 先ずは、曲面の高次元版である滑らかな多様体の定義と例から始める。次に多様体上の滑らかな関数と滑らかな写像の定義を与え、それらに関する諸性質について解説する。更に、接ベクトル空間の定義を与え、滑らかな写像の微分について解説する。その後は、これまでに述べた概念から得られる逆関数定理や滑らかな写像の微分によって定義が与えられる「はめ込み」と「沈め込み」について解説する。なお、上述の内容は、学生の理解度に応じて前後することがある。				
<b>【テキスト】</b> 松本幸夫 著『多様体の基礎』(東京大学出版会)				
<b>【参考図書】</b> L.W. Tu, "An introduction to manifolds", 2nd ed., (Springer); J.M. Lee, "Introduction to smooth manifolds", 2nd ed., (Springer); F.W. Warner, "Foundations of differentiable manifolds and Lie groups", (Springer)				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験による。				

対面授業(理学部)				01007
授業科目名:幾何学 Ib			担当教員氏名: 近藤 慶	
Geometry Ib				
履修年次 3~4	1 単位	第 4 学期	1 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)
<b>【授業の目的】</b> 具体的な多様体上の写像がはめ込みか埋め込みか否かを調べることができるようになる。また、具体的な多様体上の写像の臨界点の集合を求めることができる。				
<b>【授業内容】</b> 正則部分多様体の定義から始め、滑らかな写像のレベル集合と正則部分多様体の関係、すなわち正則レベル集合定理について解説する。更に、はめ込み定理と沈め込み定理についても解説する。その後は、埋め込みの定義と例を与え、1 の分割の解説後、ホイットニーの埋め込み定理を紹介する。最後に、ベクトル場とその諸性質について解説する。なお、上述の内容は、学生の理解度に応じて前後することがある。				
<b>【テキスト】</b> 松本幸夫著『多様体の基礎』(東京大学出版会)				
<b>【参考図書】</b> L.W. Tu, "An introduction to manifolds", 2nd ed., (Springer); J.M. Lee, "Introduction to smooth manifolds", 2nd ed., (Springer); F.W. Warner, "Foundations of differentiable manifolds and Lie groups", (Springer)				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験による。				

対面授業(歯学部)				01008
授業科目名: 痛みの科学			担当教員氏名: 宮脇卓也・他	
Essays on pain				
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 1・2 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  痛みはそれを感じる生体への警告信号であり、誰もが日常生活で経験するものです。しかし、それが過剰で持続すれば生活を困難にする場合も生じます。逆に、生活習慣が痛みの原因になることもあります。本授業では、痛みの種類と発生機序、様々な病態における痛みの特徴、および痛みを制御する方法について理解し、日常生活における痛みと健康との関連について考察することを目的としています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回: 痛みの科学概説(1)  第2回: 痛みの科学概説(2)  第3回: 痛みの神経解剖学(1)  第4回: 痛みの神経解剖学(2)  第5回: 痛みの神経生理学(1)  第6回: 痛みの神経生理学(2)  第7回: 痛みの神経薬理学(1)  第8回: 痛みの神経薬理学(2)  第9回: 痛みの臨床(1)  第10回: 痛みの臨床(2)  第11回: 痛みの臨床(3)  第12回: 痛みの臨床(4)  第13回: 痛みの臨床(5)  第14回: 痛みの臨床(6)  第15回: 痛みの臨床のまとめ  第16回: 予備日</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  特にありません。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  出席並びにレポート又は小テストによる各担当教員の成績評価を毎回行い、これを集計して総合評価が 60 点以上を合格とします。レポート又は小テストを課すことから、基本的には毎回の出席を合格の条件とします。</p>				

対面(ハイブリッド)授業(工学部)				01009
授業科目名:セキュリティ概論			担当教員氏名: 横平徳美, 野上 保之, 福島 行信, 五百旗頭 健吾, 小寺 雄太	
Introduction to Security				
履修年次 理工系学部 3 年次 以上	2 単位	後期	2 コマ	50 分 × 2 (月曜 7・8 限)
<b>【授業の目的】</b> サイバーフィジカル・ネットワークに渡る情報セキュリティの重要性とそれを実現するための技術に関する深い理解を習得すること。				
<b>【授業内容】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 暗号の歴史と概要</li> <li>2. 暗号数学</li> <li>3. 共通鍵暗号とデータ暗号化/公開鍵暗号と認証技術</li> <li>4. 暗号計算のハードウェア実装</li> <li>5. 暗号ハードウェアに対する工夫と安全性評価</li> <li>6. 通信における様々な脅威と安全に通信するための暗号技術</li> <li>7. データリンク層セキュリティ</li> <li>8. ネットワーク層セキュリティ(1)</li> <li>9. ネットワーク層セキュリティ(2)</li> <li>10. トランスポート層セキュリティ</li> <li>11. アプリケーション層セキュリティ</li> <li>12. マルウェア感染と解析 (1)</li> <li>13. マルウェア感染と解析 (2)</li> <li>14. メモリ破棄攻撃と対策 (1)</li> <li>15. メモリ破棄攻撃と対策 (2), アクセス制御 (100 分の授業を 1 回としている)</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> Web やメールで資料を配布する。				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 全 15 回のうち、5 回区切りで小テストやレポート課題を課す。座学 60%、テスト・課題 40%で成績をつける。				

対面授業(工学部)			01010	
授業科目名:ハードウェアセキュリティ実験			担当教員氏名:野上 保之, 五百旗頭 健吾,小寺 雄太	
Hardware Security Experiments				
履修年次 理工系学部 3 年次 以上	1 単位	第 3 学期	11 月 3, 4 日(各日 9:00-17:00)	
<p><b>【授業の目的】</b> 暗号技術の歴史, 現代暗号の原理, アプリケーションを学び, IoT 時代において情報や社会システム, インフラ等の安全性がどのように担保されているかを学ぶ. また, 暗号アルゴリズムのハードウェア実装の基礎を学ぶ. さらに暗号のハードウェア実装に対するサイドチャネル攻撃の原理を学び, 暗号技術への多様な脅威についてその原理及び対策技術に関する基礎知識を習得する.</p>				
<p><b>【授業内容】</b> IoT 時代において情報を他人に盗み見られることなく安全に交換するために暗号技術は重要な役割を果たす. その一方で暗号計算のハードウェア実装の仕方によっては, その理論的な解読困難さにも関わらず物理的な手段によって短時間で解読できる攻撃(サイドチャネル攻撃)が知られている. 本講義では, 暗号技術の歴史と原理, 用途について学ぶとともに, ハードウェア実装を体験し, その基礎を学ぶ. さらに, ハードウェア実装された暗号計算に対するサイドチャネル攻撃による解読を体験し, 攻撃原理とその防御のための基礎知識を学ぶ.</p>				
<p><b>【テキスト】</b> Web で資料を配布する.</p>				
<p><b>【参考図書】</b> コンピュータ数学, プログラミング, 回路理論, 論理回路に関する書籍</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 出席とレポートにより評価する.</p>				

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01011						
授業科目名: Sociological Imagination			担当教員氏名: 宮川 陽名							
Sociological Imagination										
履修年次 1~4	2 単位	第 1 学期	4 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限) 50 分×2(木曜 7・8 限)						
<p><b>【授業の目的】</b> 英語で開講される社会学の導入科目。小説を読み進めながら、社会学的視点・感性やコンセプトについて学ぶ。適宜、新聞・雑誌記事・ラジオ番組・Youtubeなどを副教材として活用し、現代社会の事象についても考えていく。</p>										
<p><b>【授業内容】</b> This is an introductory course in sociology. Students will explore what it means to ‘see’ from a sociological perspective through reading a novel, <i>Little Fires Everywhere: A Novel</i> by Celeste Ng as well as various news and journalistic articles, and engaging in discussions. Some of the basic sociological concepts discussed in this course include but are not limited to stratification, class, inequality, globalization, ethnicity, race, gender, family, socialization, social order, social networks, institutions, norm, conformity, and deviance. This is a 2-credit course. It entails twice per week meetings and an online component (via Moodle, Google Doc, etc.). The course requires you to work independently as well as in groups.</p>										
<p><b>【テキスト】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Giddens, Anthony, Mitchell Duneier, Richard P. Applebaum, and Deborah Carr. 2018. <i>Introduction to Sociology 11th Edition (Seagull)</i>. New York, NY: W.W. Norton &amp; Company.</li> <li>• Ng, Celeste. 2018. <i>Little Fires Everywhere: A Novel</i>. London, UK: Abacus.</li> </ul>										
<p><b>【参考図書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Bauman, Zygmunt and Tim May. 2001. <i>Thinking Sociologically, 2nd Edition</i>. Oxford, UK: Blackwell Publishing.</li> <li>• Mills, C. Wright. 1959. <i>Sociological Imagination</i>. Oxford, UK: Oxford University Press.</li> <li>• <i>Contexts: Understanding People in Their Social Worlds</i>, a magazine published by the American Sociological Association.</li> </ul>										
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <table> <tr> <td>• Weekly Writing Exercises (i.e., 8 DB’s)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>• Final Essay</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>• In-Class Discussion &amp; Participation</td> <td>30%</td> </tr> </table>					• Weekly Writing Exercises (i.e., 8 DB’s)	40%	• Final Essay	30%	• In-Class Discussion & Participation	30%
• Weekly Writing Exercises (i.e., 8 DB’s)	40%									
• Final Essay	30%									
• In-Class Discussion & Participation	30%									



対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム) ※(オンライン対応可)				01012						
授業科目名: Culture and Illness			担当教員氏名: 上杉 健志							
Culture and Illness			Uesugi Takeshi							
履修年次 1~4	2 単位	第 2 学期	4 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限) 50 分×2(木曜 7・8 限)						
<b>【授業の目的】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Understand some of the key concepts in medical anthropology.</li> <li>● Learn to take notes (lectures and discussions).</li> <li>● Learn to read an ethnography in medical anthropology.</li> <li>● Learn to apply theoretical concept to cases.</li> </ul>										
<b>【授業内容】</b> <p>Is epilepsy a neurological disorder or a sign of blessing? Are brain dead individuals really dead? Is a fetus a person? Is a parasite part of our body? Is shamanism a hoax? Are chemical manufacturers “poisoners”? In this class we re-consider what seems like natural categories such as life and death, or body and disease, via cross-cultural examinations of medical beliefs.</p> <p>Students will be exposed to various case studies from around the world in which cultural differences in medical beliefs have led to conflicts, and learn basic concepts and ways of thinking in medical anthropology.</p>										
<b>【テキスト】</b> <p>Anne Fadiman, 1997. Spirit Catches You and You Fall Down: A Hmong Child, Her American Doctors, and the Collision of Two Cultures. Farrar, Strauss and Giroux.</p>										
<b>【参考図書】</b>										
<b>【成績評価の方法】</b> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Reading Notes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Take-home Exam</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> </table>					Participation	30%	Reading Notes	20%	Take-home Exam	50%
Participation	30%									
Reading Notes	20%									
Take-home Exam	50%									

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01013
授業科目名: 開発学入門			担当教員氏名: 山本 由美子	
Introduction to Development Studies			Yamamoto Yumiko	
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分 × 2 (火曜 7・8 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  Students will learn the different facets of development and discuss the key and emerging issues with a focus on the Asia-Pacific countries. This class will take a multidisciplinary approach to understanding and discussing development, drawing from multiple disciplines such as economics, history, environmental studies, health, and nutrition.</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  This is an introductory course on development studies, focusing on a development discourse in the postwar period. The course is designed for students who wish to work in the fields of international development or international business. Other students willing to obtain basic knowledge in development are also encouraged to attend. Through the in-class discussions and research projects, students will have opportunities to gain an in-depth understanding of the development issues in selected countries in the Asia-Pacific or other regions. In the course, we discuss various development agendas related to economic development, human development, and sustainable development.</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  No textbooks: Book chapters and articles will be assigned each week (see below).</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  Todaro, M.P. and S.C. Smith (2015). <i>Economic Development</i>. UK: Pearson.  United Nations (UN). 2000. <i>Millennium Declaration</i>. NY: UN.  United Nations (UN). 2015. <i>Transforming our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development</i>. NY: UN.  UNESCAP. 2019. The <i>2019 Asia-Pacific SDG Baseline Report</i>. Bangkok: UNESCAP.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  Active participation 30%, weekly assignments (total of 5) 50%, country research paper 20%</p>				

対面授業(教養教育科目)			01014	
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名:鈴木 久雄 :榎本 翔太	
Health and Sports Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	通年	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。 また, 個々人が自ら設定した課題を探求し, 理論と実践の融合をはかる。				
<b>【授業内容】</b> I 4月12日(水) 18:30~オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階スポーツ支援室にて) II 下記の講義 1)~8)より 7 回以上受講すること。 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室。 1) 4月26日(水)スポーツにおける膝関節に生じる問題について 2) 5月17日(水)スポーツと栄養 3) 6月28日(水)スポーツと心臓のかかわり 4) 7月19日(水)上肢スポーツ障害 5)10月18日(水)スポーツメンタルトレーニング 6)11月15日(水)メディア&テクノロジーの発達とスポーツの変化 7)12月13日(水)スポーツと歯科 8) 1月17日(水)スポーツと法 III 1月17日(水) 講座後に まとめ(岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階スポーツ支援室にて)				
<b>【テキスト】</b> テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。				
<b>【参考図書】</b> 特になし				
<b>【成績評価の方法】</b> 7 回分の講義レポート 80%, ディスカッション 20%より評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01015
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	1学期	1コマ 火 5.6 時限	各大学において初級程度の韓国語を毎年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 1学期と2学期をセットで受講することが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2～7回：プリントによる韓国語の句型や単語の習得： 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回：最終試験</p>				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験(40%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)			01016	
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1 単位	2 学期	1コマ 火 5・6 時限	各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 1 学期と 2 学期をセットで受講することが望ましい。
<p><b>【授業の目的】</b>  韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。  韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。  韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得:  各課ごとに単語テストを行う。  第8回 : 最終試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b> プリント</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)			01017	
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	3学期	1コマ 火 5.6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し て下さい。 3学期と4学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<b>【授業の目的】</b> 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
<b>【授業内容】</b> 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験				
<b>【テキスト】</b> プリント				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				

対面授業(教養教育科目)			01018	
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1 単位	4 学期	1コマ 火 5・6 時限	各大学において初級程度の韓国語を毎年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講することが望ましい。
<p><b>【授業の目的】</b>  韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。  韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。  韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得:  各課ごとに単語テストを行う。  第8回 : 最終試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b> プリント</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01019
授業科目名: 数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名: 國米 充之	
Basic Mathematical and Data Sciences			定員 10名	
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	1 コマ	50 分×2(月曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する				
<b>【授業内容】</b> 滋賀大学開発教材(ds-mooc 教材)を活用し、以下の内容を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解</li> <li>● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践</li> <li>● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の概要や基礎を理解</li> </ul> なお、PC を用いた確認テストや課題作成等を実施するので、用意して授業に臨むこと				
<b>【テキスト】</b> “大学生のためのデータサイエンス(I), (II) オフィシャルスタディノート”, 滋賀大学データサイエンス学部 編, 日本統計協会				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 滋賀大学開発教材による確認テスト、岡大 Moodle での小テスト、ならびに演習課題の提出(評価)により総合的に評価する				



対面授業(教養教育科目)				01020
授業科目名:数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名:市岡 優典	
Basic Mathematical and Data Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 3・4 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する。また、各自のパソコン(PC)を用いて、データ分析の実習に実際に取り組む。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  授業計画は、教科書の単元で示す以下の通りで、各自のノート PC を持参しての PC 実習の対面授業と、オンデマンド教材を用いた遠隔授業を隔週で実施します。</p> <p>第1週[対面:PC 実習(Excel)]  はじめに、2.データ分析の基礎(1~2)、3.コンピュータを用いたデータ分析(1~2)</p> <p>第2週[遠隔(オンデマンド教材)]  1.現代社会におけるデータサイエンス(1~6)、 2.データ分析の基礎(3~7)</p> <p>第3週[対面:PC 実習(Excel, R, Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(3,4,7)</p> <p>第4週[遠隔(オンデマンド教材)]  2.データ分析の基礎(8~10)、 1.現代社会におけるデータサイエンス(7~12)</p> <p>第5週[対面:PC 実習(R, Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(5~7)</p> <p>第6週[遠隔(オンデマンド教材)]  4.データサイエンスの応用事例(1~9)、 2.データ分析の基礎(11~12)</p> <p>第7週[対面:PC 実習(Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(8~9)、機械学習とは</p> <p>※理学部学生対象のクラスでの履修になります。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  「大学生のためのデータサイエンス(I) オフィシャルスタディノート 改訂版」  滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822341305)  及び、それに対応したオンデマンド映像教材</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  「大学生のためのデータサイエンス(II) オフィシャルスタディノート」  滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340537)  「統計学 I :データ分析の基礎」  日本統計学会編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340421)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  各回授業時の確認テスト(オンライン)、および、Moodle からの課題提出により評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01021
授業科目名:安全衛生入門			担当教員氏名: 寺東 宏明・岩崎 良章・名倉 弘哲・ 崎田 真一・中西 真・岡本 崇	
Introduction of Safety and Health				
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	1 コマ	50 分×2(金曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】どのような職種においても仕事における安全衛生管理は必要なものである。その管理は産業医や衛生管理者、作業環境測定士など多くの専門家によって担われているが、個々の労働者の自覚と対応もまた必須である。本講義の目的は職場の安全衛生管理がどのように維持されているのかについて知ることであり、このことは仕事をする際の自分と周囲の安全と健康を守るために重要である。</p> <p>【授業内容】職場の安全衛生管理は労働者が健康に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、関連法令・規制、化学物質管理、健康管理、放射線安全管理、災害対策等をテーマにする。到達目標は、①安全衛生管理の仕組みについて理解する、②安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する、③安全衛生管理に関連する資格について理解する、④日本の安全衛生管理の状況について理解する、⑤職場において安全衛生管理の知識を持って正しい行動が出来る、である。授業は全 8 回で、内容は①ガイダンス、日本の安全衛生の現状、②安全衛生関連法令・規則、③作業環境管理、④化学物質管理、⑤健康管理、⑥災害時における安全衛生管理、⑦放射線安全管理、⑧期末試験、である。</p>				
【テキスト】指定しない。				
【参考図書】講義中に紹介する。				
【成績評価の方法】期末試験と講義中の小テストの合算で評価する。100 点満点で、講義中の小テストは各 10 点で回数は未定。期末試験の配点は小テストの実施回数で変動する。				

対面授業(教養教育科目)				01022
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:萩原 信裕	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	1 コマ	50 分×2(月曜 5・6 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障制度の概要</li> <li>2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割</li> <li>3. 生命保険契約のしくみ</li> <li>4. 生命保険会社の組織・業務 等</li> </ol> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命保険契約における保険料の算出根拠</li> <li>2. 必要保障額の算出</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・授業レジュメを資料配布する。  ・字幕のない DVD を使用することがあります。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  書名:図説生命保険ビジネス第 2 版  著者名:山本祥司/川野眞一郎、他  出版社:一般社団法人金融財政事情研究会  出版年度:2022</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね 30 点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね 70 点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01023
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:萩原 信裕	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	1 コマ	50 分×2(金曜 5・6 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障制度の概要</li> <li>2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割</li> <li>3. 生命保険契約のしくみ</li> <li>4. 生命保険会社の組織・業務 等</li> </ol> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命保険契約における保険料の算出根拠</li> <li>2. 必要保障額の算出</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・授業レジュメを資料配布する。  ・字幕のない DVD を使用することがあります。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  書名:図説生命保険ビジネス第 2 版  著者名:山本祥司/川野眞一郎、他  出版社:一般社団法人金融財政事情研究会  出版年度:2022</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね 30 点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね 70 点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01024
授業科目名:ESD「持続可能な開発のための教育」の ホール・コミュニティ・アプローチ			担当教員氏名:柴川 弘子	
Whole-Community Approach for Implementing Education for Sustainable Development				
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	1 コマ	50 分×2(火曜 5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b> ESD は視点の教育であると言われる。そのような視点を持つことで、どのような場・領域・分野においても実践は可能となるとも言える。そして、それらの視点は、まさに持続可能な社会づくりの実践の中において涵養されるものである。ただ単に実践(者)に出会い・体験するのではなく、その前後における十分な探究プロセスの有無が重要となる。そこで、本授業では、学生自らが ESD に出会い、実践を体感し、視点を獲得するという体験を通じて、ESD の実践者として求められる大切な視点を獲得することを目的としている。</p> <p>以下の内容について、専門知識や技能を習得することを学習目標とする。</p> <p>① ESD の基礎的知識 ② ESD を地域と連携して実践する上での課題 ③ ESD を推進する地域の取り組み</p>				
<p><b>【授業内容】</b> ESD(Education for Sustainable Development)持続可能な開発のための教育は、世界の諸課題を見据えながらも「地域コミュニティに根差し、多様な人々、社会および環境と有機的につながり」ながら実践されるものである。ホール・コミュニティ・アプローチとは、多様な持続可能な開発の実践の共同体が、それぞれに自律的かつ主体的に生き活きと実践を進めながら、相互に関わり合い、学び合いながら新たな価値を創造していくように ESD が進められる手法(仕組み・仕掛け)のことを意味している。</p> <p>本講義で目指すのは、その実践を進める上での課題について理解し、具体的な方法について体験を通じて学び、ESD の実践者としての視点を獲得することである。</p> <p>本講義では、ESD の基礎的な知識と学習理論、そして先進的な実践事例におけるアプローチについて学ぶ。受講生自身もフィールドに出向いたり、実践者の方と出会ったりする体験を通じて、地域と連携して ESD を推進する上での視点を獲得することを期待している</p> <p>授業計画は以下の通りである。</p> <p>1回:オリエンテーション、ESD についての講義 2回:フィールドワーク 3回:フィールドワークの振り返り、ディスカッション、課題提起 4回:関係者による講義、ディスカッション 5回:調査(フィールドワーク) 6回:中間報告 7回:調査(フィールドワーク) 8回:提案発表、振り返り、相互評価</p>				
<p><b>【テキスト】</b> なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 適宜授業で資料を配布・指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> グループディスカッション参加、プレゼンテーション、レポートなどを総合的に評価する。なお、2/3 以上の出席(フィールドワーク含む)が成績評価の対象となる。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01025
授業科目名:子どもの歴史の学び方 I—今をつくる歴史—			担当教員氏名:桑原 敏典	
How children learn history I			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(木曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直すことを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:なぜ、私たちは子どもの頃から歴史を学んできたのか 第2回:歴史教科書には何かが書かれているか 第3回:歴史教科書の記述はどうなっているか 第4回:私たちは歴史で何を学んでいるか 第5回:教科書に書かれている歴史は正しいか 第6回:教科書は歴史を通して何を伝えようとしているのか 第7回:教科書の記述はなぜ変わるのか 第8回:社会のあり方と歴史教育の役割 第9回:歴史とは何か 第10回:私たちは歴史を学ぶことができるのか 第11回:歴史はなぜ論争になるのか 第12回:どうすれば歴史をめぐる論争を解決できるのか—レポート作成— 第13回:歴史をめぐるどのような論争が起きているか—レポート作成— 第14回:歴史をめぐる論争を解決するためにはどうすればよいか—レポート作成— 最終試験				
<b>【テキスト】</b> 使用しません。				
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示します。				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)				

対面授業(教養教育科目)				01026
授業科目名:子どもの歴史の学び方Ⅱ—未来をつくる歴史—			担当教員氏名:桑原 敏典	
How children learn history Ⅱ			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(木曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直し、これからの歴史教育のあり方を考えることを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:子供は歴史を学ぶ意味をどのように捉えているか 第2回:教師は何を目指して歴史を教えているのか 第3回:アメリカの歴史では日本をどのように教えているのか 第4回:日米の歴史学習の違いは何か 第5回:アメリカの子供は自分の国の歴史をどのように学んでいるのか 第6回:アメリカの子供の歴史の学び方にはどのような課題があるのか 第7回:歴史教育とアイデンティティ 第8回:多様性と歴史教育 第9回:なぜ、日本は近隣諸国と歴史でもめるのか 第10回:日中韓で歴史の学び方は違うのか 第11回:歴史認識問題とは何か 第12回:どうすれば歴史認識をめぐる対立を克服できるのか 第13回:未来をつくる歴史教育の構想 第14回:私が提案する新しい歴史授業 最終試験				
<b>【テキスト】</b> 使用しません。				
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示します。				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)				

対面授業(教養教育科目)				01027
授業科目名:交流による子どもの成長支援 I			担当教員氏名:桑原 敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction I			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:子どもの成長と社会  第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割  第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り—  第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り—  第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的  第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動  第7回:「中学生だっぴ」とは何か  第8回:「中学生だっぴ」の成果  第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割  第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験  第11回:「中学生だっぴ」の準備  第12回:「中学生だっぴ」の運営  第13回:「中学生だっぴ」の体験  第14回:活動報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  活動への参加状況のレポート(50%) + 最終報告会での報告内容(50%)</p>				



対面授業(教養教育科目)				01028
授業科目名:交流による子どもの成長支援Ⅱ			担当教員氏名:桑原 敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction Ⅱ			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第4学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:子どもの成長と社会  第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割  第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り—  第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り—  第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的  第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動  第7回:「中学生だっぴ」とは何か  第8回:「中学生だっぴ」の成果  第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割  第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験  第11回:「中学生だっぴ」の準備  第12回:「中学生だっぴ」の運営  第13回:「中学生だっぴ」の体験  第14回:活動報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  活動への参加状況のレポート(50%) + 最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01029
授業科目名:対話による社会参画入門 入門編			担当教員氏名:桑原 敏典	
Introduction edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	1 コマ	50 分×2(金曜 7・8 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>				
<p>この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の 70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義  第2回:社会参画の方法  第3回:NPO の役割と働き  第4回:NPO 活動の実際  第5回:地域課題発見の方法  第6回:地域課題発見のためのワークショップ  第7回:地域課題発見のための技術  第8回:地域課題解決の方法  第9回:地域課題解決のためのワークショップ  第10回:地域課題発見のための実地調査の計画立案  第11回:地域課題発見のための実地調査  第12回:地域課題解決のための実地調査の計画立案  第13回:地域課題解決のための実地調査  第14回:最終報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  活動への参加状況のレポート(50%) + 最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01030
授業科目名:対話による社会参画入門上級編			担当教員氏名:桑原 敏典	
Advanced edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b> この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。 第1回:教育における社会参画活動の意義 第2回:社会参画活動のためのワークショップ 第3回:参画する組織や団体のインターネットや文献による調査 第4回:参画する組織や団体へのアプローチ 第5回:参画する組織や団体との連絡 第6回:参画する組織や団体との交渉 第7回:地域課題発見のためのワークショップ 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査 第11回:地域課題解決のための実地調査 第12回:地域課題解決のための社会参画活動 第13回:社会参画活動の報告会準備 第14回:社会参画活動の報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)			01031
授業科目名:生活科教育法		担当教員氏名:桑原 敏典	
Life Environment Studies Teaching Methodology		Toshinori Kuwabara	
履修年次 1~4	1単位	夏季集中	8月21(月)・22日(火)の2日間
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目的とする。  1. 生活科をめぐる諸課題とその背景を理解する。  2. 生活科授業構成のねらいと方法を理解する。  3. 生活科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  第1回:生活科授業の特質  第2回:生活科授業の原理  第3回:生活科授業の課題と背景  第4回:生活科授業の指導案  第5回:生活科授業の指導案作成  第6回:生活科授業の指導法  第7回:生活科授業の指導法の原理  第8回:生活科の内容  第9回:生活科の内容編成の原理  第10回:生活科授業における教材の役割  第11回:生活科授業における学習活動の指導  第12回:生活科授業の目標設定の原理と方法  第13回:生活科授業の内容選択の原理と方法  第14回:生活科授業づくりの原理と方法  試験</p>			
<p><b>【テキスト】</b>  『小学校学習指導要領 生活編』</p>			
<p><b>【参考図書】</b>  授業において別途指示する。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出(50点)と試験(50点)により総合的に評価する。</p>			

対面(ハイブリッド)授業(工学部)				01032
授業科目名:分散データ管理演習			担当教員氏名:小寺 雄太, 長田 繁幸, 福島 行信, 他	
Distributed Data Management Training				
履修年次 理工系学部 3 年次 以上	2 単位	夏季集中	9 月 6, 7, 8 日(各日 9:00-17:00)	
<p><b>【授業の目的】</b>  分散数学と公開鍵暗号の基礎知識を学習する。秘密分散共有法と分散復号を学習し、実装演習および解読実験を通して理解を深める。また、セキュリティ対策について学ぶために、CTF 演習を通して攻撃者の利用するツールの特性や視点を理解して、効果的な対策方法を検討できるようになる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  近年、分散データ管理が重要なテーマである。本科目では、分散データ管理を実現するのに必要な秘密分散共有法についてその理論と実装について学ぶ。また、効果的なセキュリティ対策を講じられるように、攻撃者がもつ技術や視点を、ゲーム形式(CTF: Capture The Flag)で学習する。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  Web で資料を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  コンピュータ数学関連書籍</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  出席とレポートにより評価する。</p>				

対面授業(工学部)			01033	
授業科目名:衝突型暗号解読演習			担当教員氏名:野上 保之, 小寺 雄太	
Collision-based Cryptanalysis Exercise				
履修年次 理工系学部 3 年次 以上	1 単位	夏季集中	9 月 14, 15 日(各日 9:00-17:00)	
<b>【授業の目的】</b> 楕円曲線暗号を具体的な例として公開鍵暗号の役割を学び, その計算量的な観点からの安全性について学ぶ. そして, 鍵長などのセキュリティパラメータの適切な設定について, 衝突型解読攻撃を実装・実験することにより, 具体的に理解する.				
<b>【授業内容】</b> IoT 時代において情報を他人に盗み見られることなく安全に交換するために暗号技術は重要な役割を果たす. その中で, 楕円曲線暗号や RSA 暗号など公開鍵暗号は, ユーザや機器を電子的に認証するために用いられており, その鍵長などセキュリティパラメータは, 計算量的な安全性評価に基づいて適切に設定されなければならない. 本演習では, 楕円曲線暗号を具体的なターゲットとして, 衝突型の暗号解読攻撃プログラムを実装し, その計算量的な安全性の評価方法について学ぶ.				
<b>【テキスト】</b> Web で資料を配布する.				
<b>【参考図書】</b> コンピュータ数学, プログラミング関連書籍				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席とレポートにより評価する.				

対面授業(農学部)				01034																											
授業科目名: 農場体験実習			担当教員氏名: 福田 文夫																												
Experience of Farm Practice																															
履修年次 1~4年	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする																											
<p><b>【授業の目的】</b> 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の重要性を理解する。</p>																															
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>1. 受講を希望する学生は事前に担当教員( ffukuda@(@以下は okayama-u.ac.jp))に直接メールにて問い合わせして下さい(希望人数によっては抽選になります)。 8月4日(金)17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。</p> <p>2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月25,26,27日)、以下のような要領で実習を行います。</p> <p>1)野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)の運営をそれぞれ体験する。</p> <p>2)教員・技術職員とともに作業を行い、その必要性、合理性ならびに農業技術の体系を習得する。</p> <p>3)実習日程(詳細については、天候などの条件で変更となる可能性がある)</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>9月25日(月)</th> <th>9月26日(火)</th> <th>9月27日(水)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-12:00 センター紹介</td> <td>9:00-10:15 果樹の管理</td> <td>9:00-9:30 移動(津高牧場)</td> </tr> <tr> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>10:30-11:45 畑雑草の管理</td> <td>9:45-10:45 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>13:15-15:00 野菜の管理1</td> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>11:00-12:00 和牛の管理</td> </tr> <tr> <td>15:15-17:00 野菜の管理2</td> <td>13:15-15:00 ブドウの収穫</td> <td>12:00-12:30 移動(岡山農場)</td> </tr> <tr> <td>17:00 解散</td> <td>15:15-17:00 ブドウの品質測定</td> <td>12:30-14:00 昼食(生協等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 解散</td> <td>14:00-15:30 稲刈り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>15:30-16:00 着替え</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>16:00 解散</td> </tr> </tbody> </table> <p>4)終了後レポートはメールにて提出する。</p>					9月25日(月)	9月26日(火)	9月27日(水)	10:30-12:00 センター紹介	9:00-10:15 果樹の管理	9:00-9:30 移動(津高牧場)	11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理	13:15-15:00 野菜の管理1	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理	15:15-17:00 野菜の管理2	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)	17:00 解散	15:15-17:00 ブドウの品質測定	12:30-14:00 昼食(生協等)		17:00 解散	14:00-15:30 稲刈り			15:30-16:00 着替え			16:00 解散
9月25日(月)	9月26日(火)	9月27日(水)																													
10:30-12:00 センター紹介	9:00-10:15 果樹の管理	9:00-9:30 移動(津高牧場)																													
11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理																													
13:15-15:00 野菜の管理1	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理																													
15:15-17:00 野菜の管理2	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)																													
17:00 解散	15:15-17:00 ブドウの品質測定	12:30-14:00 昼食(生協等)																													
	17:00 解散	14:00-15:30 稲刈り																													
		15:30-16:00 着替え																													
		16:00 解散																													
<p><b>【テキスト】</b> 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。</p>																															
<p><b>【参考図書】</b> 応用植物科学栽培実習マニュアル, 森源治郎ほか監修, 養賢堂, 東京(2000)ISBN4-8425-0058-1</p>																															
<p><b>【成績評価の方法】</b> 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。</p>																															

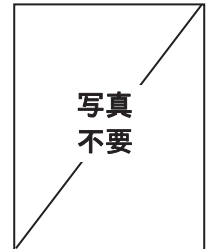
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部		学科		年
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成・令和 年 月 日		
現住所	〒 - Tel ( ) -				
メールアドレス	@				

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

\* 履修受付締切日：第1～2学期：4月3日(月)15時まで 第3～4学期：9月20日(水)15時まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目 ※対面授業に変更</b>										
01101	保健科学入門	専門	齋藤 信也	1	第1学期	1	若干名(オンライン授業)	火 8:40～10:50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>対面授業科目</b>										
01001	フランス語コミュニケーション 1	専門	延味 能都	2	第1 第2 学期	1～4		火 8:40～10:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
01002	フランス語コミュニケーション 2	専門	萩原 直幸	2	第3 第4 学期	1～4		火 8:40～10:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
01003	中等社会科・公民科授業開発 (基礎)	専門	桑原 敏典	1	第3 学期	2～4		月 8:40～10:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
01004	中等社会科・公民科授業開発 (応用)	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	2～4		月 8:40～10:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
01005	法哲学	専門	大森 秀臣	2	第3 第4 学期	3～4		水 18:00～19:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
01006	幾何学 Ia	専門	近藤 慶	1	第3 学期	3～4		木 13:25～15:15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
01007	幾何学 Ib	専門	近藤 慶	1	第 4 学期	3~4	幾何学 Ia と合わせて履修すること。	木 13:25~15:15		
01008	痛みの科学	教養	宮脇 卓也 他	1	第 2 学期	1~4		月 8:40~10:30		
01009	セキュリティ概論	専門	横平 徳美 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太	2	第 3 学期 第 4 学期		理工系学部 3 年次以上	月 15:30~17:20		
01010	ハードウェアセキュリティ実験	専門	野上 保之 五百旗頭 健吾 小寺 雄太	1	第 3 学期		理工系学部 3 年次以上	11 月 3, 4 日 (各日 9:00~17:00)		
01011	Sociological Imagination	専門	宮川 陽名	2	第 1 学期	1~4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	月木 15:30~17:20		
01012	Culture and Illness	専門	上杉 健志	2	第 2 学期	1~4		月木 15:30~17:20		
01013	Introduction to Development Studies	教養	山本 由美子	1	第 1 学期	1~4		火 15:30~17:20		
01014	健康・スポーツ科学 C	教養	鈴木 久雄 榎本 翔太	1	1~4 またがり	1~4	開講日はシラバス参照。	水 18:30~20:10		
01015	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第 1 学期	1~4	詳細はシラバス参照。第 1 学期と第 2 学期を合わせて受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01016	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第 2 学期	1~4		火 13:25~15:15		
01017	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第 3 学期	1~4	詳細はシラバス参照。第 3 学期と第 4 学期を合わせて受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01018	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第 4 学期	1~4		火 13:25~15:15		
01019	数理・データサイエンスの基礎	教養	國米 充之	1	第 3 学期	1~4	文系学生対象	月 10:45~12:35		
01020	数理・データサイエンスの基礎	教養	市岡 優典	1	第 3 学期	1~4	理系学生対象	月 10:45~12:35		
01021	安全衛生入門	教養	寺東 宏明 他	1	第 4 学期	1~4		金 13:25~15:15		
01022	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第 1 学期	1~4	同一科目のため、どちらかを受講すること。	月 13:25~15:15		
01023	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第 2 学期	1~4		金 13:25~15:15		
01024	ESD「持続可能な開発のための教育」のホール・コミュニティ・アプローチ	教養	柴川 弘子	1	第 3 学期	1~4	学外活動がある。	火 13:25~15:15		
01025	子どもの歴史の学び方 I —今をつくる歴史—	教養	桑原 敏典	1	第 1 学期	1~4	第 2 学期の「子どもの歴史の学び方 II」と合わせて履修することが望ましい。	木 8:40~10:30		
01026	子どもの歴史の学び方 II —未来をつくる歴史—	教養	桑原 敏典	1	第 2 学期	1~4	第 1 学期の「子どもの歴史の学び方 I」を履修していないと履修できない。	木 8:40~10:30		

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評 価
<b>対面授業科目</b>										
01027	交流による子どもの成長支援Ⅰ	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	学外での活動が多いため、必ずしも時間割に示された時間に実施するわけではない。	月 15:30~17:20		
01028	交流による子どもの成長支援Ⅱ	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4		月 15:30~17:20		
01029	対話による社会参画入門 入門編	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	第4学期の「上級編」と合わせて履修することが望ましい。学外での活動が多い。	金 15:30~17:20		
01030	対話による社会参画入門 上級編	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4	第3学期の「入門編」を履修していないと履修できない。学外での活動が多い。	金 15:30~17:20		
01031	生活科教育法	専門	桑原 敏典	1	夏季集中	1~4		8月21, 22日 (2日間)		
01032	分散データ管理演習	専門	小寺 雄太 長田 繁幸 福島 行信 他	2	夏季集中	理工系学部3年次以上		9月6, 7, 8日 (各日9:00~17:00)		
01033	衝突型暗号解読演習	専門	野上 保之 小寺 雄太	1	夏季集中	理工系学部3年次以上		9月14, 15日 (各日9:00~17:00)		
01034	農場体験実習	専門	福田 文夫	1	夏季集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部山陽圏フィールド科学センター ●定員15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	9/25~27 (3日間)		

写真提出枚数 (カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0枚	0枚	0枚